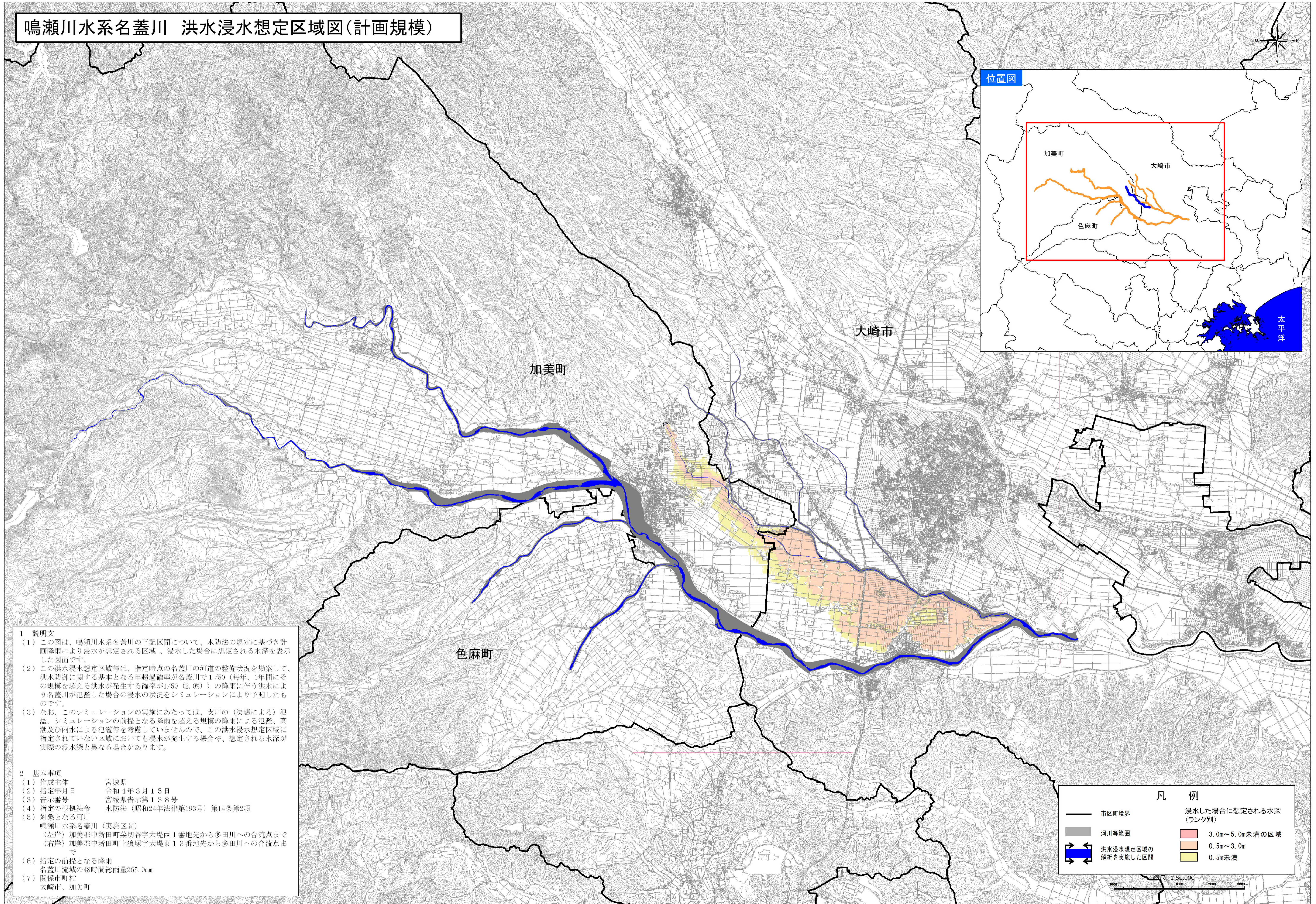


鳴瀬川水系名蓋川 洪水浸水想定区域図(計画規模)



1 説明文

(1) この図は、鳴瀬川水系名蓋川の下記区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の名蓋川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する基本となる年超過確率が名蓋川で1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2.0%））の降雨に伴う洪水により名蓋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項

(1) 作成主体 宮城県
 (2) 指定年月日 令和4年3月15日
 (3) 告示番号 宮城県告示第138号
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5) 対象となる河川
 鳴瀬川水系名蓋川（実施区間）
 （左岸）加美郡中新田町菜切谷字大堤西1番地先から多田川への合流点まで
 （右岸）加美郡中新田町上狼塚字大堤東13番地先から多田川への合流点まで

(6) 指定の前提となる降雨
 名蓋川流域の48時間総雨量265.9mm

(7) 関係市町村
 大崎市、加美町

凡 例

	市区町境界		浸水した場合に想定される水深 (ランク別)
	河川等範囲		3.0m～5.0m未満の区域
	洪水浸水想定区域の 解析を実施した区間		0.5m～3.0m
			0.5m未満